

# 平成 31 年度（令和元年度）事業報告

## 1. 事業報告

平成 31 年度は、前年度の前半期より好天に恵まれる日が多く、業績向上に繋がりましたが、後半期 12 月から 3 月までは、少雪や新型コロナの影響もあり昨年度の受託額を下回る数値となりましたが、総体的には公共、民間事業においては若干の減少、一般家庭事業では大きな増加となり、総受託額が 30 年度を上回る 8,048 万円となりました。31 年度は、事業変動が激しい年度でしたが、会員増の影響もあり、会員一人一人の就労意欲に感謝しつつ、発注者及び関係機関にもご理解ご協力をいただいたことに深く感謝を申し上げます。

又、発注者からの受注については、人手不足による依頼が多く有りましたが、発注者のニーズには、多くの対応ができたと考えており、地域と会員の要望に応えるシルバー人材センターの役割を果たして参りました。

項目	27年 実績	28年 実績	29年 実績	30年 実績	31年 実績
会員数（名）	171	188	193	191	196
受注件数（件）	1,277	1,253	1,272	1,061	1,082
就業延人（人）	13,748	1,3007	14,603	12,445	12,484
受注契約金(万円)	8,043	8,089	9,025	7,676	8,048

### (1) 会員の拡大

健康で就労意欲のある既存会員の継続と全会員へ新入会員紹介のご協力などを図り、市の広報活用や役職員による訪問活動など入会促進活動の推進を図って参りました。

- ① 「入会説明会」開催については、役職員による年 2 回の計画に基づき、2 月、3 月の 2 回を実施した結果、18 名の参加者をいただき、新規会員 14 名が入会となり、会員の拡大に繋がりました。
- ② 会員役職員を始め「一会員一名紹介運動」については、6 名の会員から紹介していただき、全員が入会となり、謝礼制度（商品券）の実施と共に新会員確保に努めました。
- ③ 10 月の全国シルバー月間デーに「市内商業施設 2 か所」と「第 11 回シルバー生き生きフェア」会員募集チラシを 1,000 枚、更に年 3 回の新聞折り込みチラシを 21,000 枚と合計 22,000 枚程を市内全域に配布、入会促進 PR を行いました。
- ④ 市広報誌を始め北海道新聞富良野支局へ年 3 回の取材要請、ホームページに

つきましては、分かりやすいようにリニューアルを行い、シルバー事業全体の宣伝及び周知を図りました。

- ⑤ 女性会員の拡大については、女性向け就労の創出に取り組み、前年度70名から78名の増員を図りました。

富良野市の人口と会員数（令和2年3月31日現在）

富良野市の人口（人）		内60歳以上 人口（人）	会員数（人）	60歳以上 会員加入率（%）
男性	9,983	3,712	118	3.17
女性	11,247	4,848	78	1.60
合計	21,230	8,560	196	2.29

## （2）受注拡大と就業開拓

全会員による主要公園等のボランティア清掃及び福祉活動を基本にPR活動を行い公益性の高い事業運営を強化し、富良野市に向けて受注拡大・就業開拓の啓発に努めました。

- ① 受注拡大では、顧客の信頼・安全・安心を確保するために適材適所の会員配置に注力しながら受注拡大を図りました。
- ② 市の高齢者福祉課、社会福祉協議会などと協議しながら4月より高齢者世帯の増加に伴い、家事支援サービス事業の新規参入を図り、会員就労にも取り組みました。
- ③ 役職員による「基盤・就業機会拡大訪問」については、12月、1月の2回訪問で合計200件以上の訪問活動を行い、合わせて就業状況アンケート調査収集にも取り組み拡大事業を図りました。
- ④ 会員「自ら開拓・自ら就労」については、自らPR活動の宣伝を行う傾向が多く見受けられました。
- ⑤ 新規事業拡大に向けては、関係機関からの情報収集等を行い営業活動に取り組みました。

## （3）就業率と技能向上

公園、墓地、水田畦草刈り、その他の刈払い等に従事する会員に「安全衛生技能講習会」を開催し、技術向上と安全安心を図るよう努めました。

- ① 新入会員には、技能取得を促し既存会員には技能向上に努めて頂くよう周知説明等を行って参りました。
- ② 新入会員及び既存会員には「安全作業と効率化」を目標に各講習会に参加して頂けるよう努めて参りました。
- ③ センター主催講習会は、草刈り・接遇マナー・交通安全講習会等を開催しましたが、清掃・剪定・冬囲い講習会については日程調整が難しく、開催されなかったため今後の課題とさせていただきます。

#### (4) 安全就業の徹底

安全就業に関しましては、シルバー事業の最優先事項であります。平成31年度は物損事故が5件（草刈り機作業）発生しており、人身事故に関しましては無事故となっております。

- ① 1月の「安全大会」開催計画は、例年に無い少雪により冬期間作業の大幅な減少となり、更に新型コロナウイルスによる自粛要請で中止となりました。
- ② 就業出発時の「交通安全・作業に気をつけて」声掛け運動は、毎朝ミーティングでの周知徹底を図りました。
- ③ 健康管理対策として「ラジオ体操」は、毎朝の励行により出発前に行われました。
- ④ 健康管理対策（認知症予防等）の講習会は、令和元年11月20日ふれあいセンター2階集会室において、市保健医療課 講師 村山純子氏の講話より、会員57名の参加を頂き健康促進に役立てていただきました。
- ⑤ 会員の健康診断（特定検診）に関しましては、全会員にシルバー情報誌等による受診の奨励及び推進を図りました。

#### (5) 適正就業の推進

シルバー人材センター事業の理念「自主・自立・共働・共助」基に、法律上では、就業及び軽易な業務を適正に遂行するために、コンプライアンス委員会の活性化を図り、法令遵守の推進に努めました。

- ① 会員への就業形態と発注者における適正就業に関しては、法令遵守を図るため、シルバー人材センターのご案内パンフレット冊子を送付しております。

#### (6) 独自事業の拡充

毎年、恒例のシルバー事業イベント「第11回生き生きフェア」に向けて、独自事業推進委員による野菜栽培を市内遊休地2か所で利用し、野菜販売、展示、バザー等などを通じて市民との交流を深めるために開催いたしました。

- ① 第1、第2会場をライブ映像で配信し、来場者に臨場感を味わって頂きました。
- ② 独自事業では、15種類に及ぶ野菜を大量生産し、低価格で会員、市民へ配送販売を行いました。
- ③ 親しみのある「生き生きフェア」目指し、第11回目から市民の皆様が利用しやすいように現金販売品をチケット販売に切り替え、スリム化を図りました。
- ④ 生き生き広場の活用については、会員向けに年2回のタイヤ交換作業を低価格で提供し、8名の会員にご利用して頂きました。
- ⑤ 独自事業の取り組みに関しましては、役職員研修会や他のシルバー人材センターの情報収集を行い、協議検討を重ね精査して行きたいと考えます。

#### (7) ボランティア活動と会員の親睦・交流の推進

心身共に健康な高齢者で構成される公益性の高い団体として、会員自ら積極的

に奉仕活動に参加し、ボランティア計画に基づき地域社会に貢献できる活動を実施して参りました。

- ① 全会員がボランティア活動に対する意識を高め、各奉仕作業や「富良野シルバー親睦会」に自主的参加を決め、健康で活力のある交流を深めることができました。
- ② 主要公園・観光道路・公共施設等の奉仕活動は、4月19日の役職員奉仕清掃作業（28名）を始め、4月24日の全会員による奉仕清掃作業（87名）総数人員115名の参加を頂き67.7%の参加率となっております。
- ③ 福祉施設への手縫い雑巾寄贈（女性会員による）については、特別養護老人ホームほがらか及びグループホーム楓に100枚ずつ2施設へ寄贈し入居者の皆様と役員による交流を深めることができました。

## （8）組織体制と財政基盤の強化

- ① 事務局の移転につきましては、4月1日から旧勤労青少年ホームに移転を行い、事務所の環境整備及び会員就労相談など様々な分野で効率を高めることができました。
- ⑥ 事務所内での情報共有や各研修会の参加により勉強会などで、業務処理の迅速化が図れ、効率的な事業推進に努めることができました。
- ⑦ 事務局の「少数精鋭」は現状維持の中で4月1日から事務所移転と共に機器契約更新時も重なり最新のIT機器を導入することができました。
- ⑧ 財政基盤の確立は、国及び市からの補助金で最重要視される課題とされますが、平成31年度においては会員拡大事業の取り組みとして、補助金増額を要請し、補助金増額に繋げることができました。
- ⑨ センター運営事業は、事務所内の細かな経費の発生を制御し減らすことに努め又、機材維持費、人件費等などでは創意工夫をこらしながらコスト削減に取り組んで参りました。

## （9）関係機関との連携強化

各関係機関はもとより、シルバー関連の連携については、去る6月の上富良野町高齢者事業団との交流会、7月の紋別市シルバー人材センター役職員による視察研修会など各種研修会及び交流会を重ね、運営事業に対しての連携強化を図って参りました。

## （10）中期計画の推進

平成31年度を初年度とした中期計画策定のため、委員会を設置し期間を5年間とする中期計画書を策定、高齢者が地域と共に「あゆむ」健康で活力のあるシルバー人材センターを地域目標に策定しました。